

# 純正会地域包括ケア通信

2019年度 第5回 純正会地域包括ケア推進委員会 開催しました



## 緑区初の地域包括ケア推進委員会開催！ テーマ「地域と医療機関がどう連携すれば 障害者の支援を行えるか」

今回の委員会は、緑区で初めて開催しました。

緑区障害者基幹相談センターの副センター長の三尾氏をお招きし、事例検討と意見交換を行いました。参加者は名古屋市立緑市民病院、訪問看護ステーション太陽・緑、居宅介護支援事業所太陽・千種、緑区はちまる在宅支援センターから、事務長さん、MSWさん、看護師さん、ケアマネジャーさんら（19名）が参加され大変活気ある会となりました。

今回の事例提供者は、名古屋市立緑市民病院の相談員の川上さんです。

川上さんが長い間熱心に関わってきた患者様の支援を振り返り、退院支援に向けて「安全面を考えて、試験外泊時にどこまで支援すればよかったのか」を参加者全員で話し合いました。

### 【事例紹介】

Aさん（80歳代男性）は知的障害のある次男のBさん（50歳代）と二人暮らし。要介護1、認知症、誤嚥性肺炎で入退院を繰り返す。Aさんの希望は「家に帰りた。」「膀胱留置カテーテル留置の状態での退院を見越して試験外泊するが、本人がトイレでの排尿を希望し、次男が無理やり膀胱留置カテーテルを抜去してしまったため、救急搬送した。試験外泊は半日で終了となった。」

川上さんは、入院中にもっと何か対応できたのではないかと、知的障害のあるBさんについてどう伝えれば良かったのか悩み、今回事例検討にこの事例を提供されました。

### 【二問一答】

- Q.. AさんとBさんの親子関係は？  
A.. Bさん曰く「自分は父親の家来」と言い、明らかにおかしな内容でもAさんの要望通りに行動してしまう。
- A.. Bさんの職歴は？  
A.. 肉体労働をしている
- Q.. Aさん親子と川上さんとの関係は？  
A.. Aさんとは、Bさんが来ない時に色々頼まれることがある。Bさんとは、色々コミュニケーションを取ろうとしてパチコンの話題で盛り上がった
- Q.. Bさんの理解力は？  
A.. 難しい事は理解できない。怒ることがあると自分を抑えられず公共物を壊すこともあった。
- Q.. Bさんの障害について関わる人は？  
A.. Bさんは障害に関する手帳を持っていないので関わっていない
- Q.. Aさん宅のご自宅の様子は？  
A.. 家の中はゴミが散乱している
- Q.. 息子さんは何か困っていたか？  
A.. 特に困ってはいなかったと思う。

参加した皆さんはとても活発に意見交換し川上さんの支援を労っていました。Aさんが望む（家に帰る）ことがいいのか、（施設に入る）方がいいのかケースの方向性について意見が分かれてしまいましたが皆さんの意見ができました。

- 外泊に向けて医療的なりスクを予測できたのか、看護師の関わりはどうだったのか？
- 本人の希望なら好きなものを食べさせてもいいのでは？
- 川上さんが難しいケースを真摯に受け止めて何とかしてあげたいと一生懸命関わって来た思いが良く伝わってきた。
- 川上さんの行った支援に対して改めて業務の業務が広範囲であることも知ることができて良かった。
- 川上さんは在宅としっかり連携できていたしAさんと良い関係を作っていて感動した。
- 参加していただいた三尾氏は「Aさんはたぶん、Bさんが心配で、そばにいたくて在宅を選んだのでは？病院の担当者1人でAさんもBさんも両方関わるのは難しいと思う。このケースに関わらず障害者のいる家庭で困難なケースは障害者基幹相談センターに連絡を頂ければ関わっていくつもりです。」とのこと意見を頂きました。
- 川上さんは「ずっとモヤモヤしていたケースでしたが、皆さんの意見を聞き、やれることができたんだと思えた。介護保険だけの支援でなく、障害分野の専門職にもこれからは相談していきたい」との感想をもらいました。参加された皆様、大変貴重なご意見ありがとうございました。



## 『地域交流会ーN港区』 着々と準備を進めています！

『地域交流会ーN港区』着々と準備を進めています！  
今年も港区で地域交流会を開催します。

昨年は災害に関する交流会「命を守る地域の連帯」を  
盛況に開催しました。

今回のテーマは「わたしたちのまちづくり〜住みたい  
まちをデザインしよう〜」に決定しました。港区役所の  
まちづくり企画課の職員の方々にご協力を頂き港区の地  
域住民によるまちづくりについてお話をしていただきま  
す。そして、いつまでもこのまちで元気に暮らしていけ  
るように、このまちに必要なモノは何か？このまちが抱  
えている課題は何か？私たちは何から始めたらいいの  
か？一緒に考えていきましょう。

今回の取り組みは地域包括  
ケアの推進、延いてはまちづ  
くり事業にと思えます。地域  
で生活している自治会の皆さ  
ん、民生委員さん、お仕事で  
活動している医療機関、介護  
福祉関係の皆さんの参加を募  
り有意義な交流会にしたいと  
思います。

たくさんの方のみなさんのご参  
加をお待ちしています。



## 編集後記

今年度の委員会の目標の一つが、「委員  
会を緑区で！」でした。名古屋市立緑市民  
病院のご協力を頂き緑区で開催できたこと  
は大変うれしく思います。名古屋市立緑市  
民病院は院内に医療相談室、訪問看護ス  
テーション、居宅介護支援事業所、はちま  
る在宅支援センターがあり、医療機関と在  
宅との連携がとりやすく、うらやましい環  
境です。その環境を存分に連携に活かすこ  
とで今後の地域包括ケアの推進に貢献でき  
ると確信しました。



### 次回の予定

日付	行事	場所
10月18日 13時半	港区区地域交流会について	東洋病院